

## ■PDCE避雷針の設置場所例

落雷に直撃された場合、停電や電子機器・設備の破損ばかりでなく、病院や野外施設などでは命の危険も伴います。PDCE避雷針はビルやマンションなどの建造物だけではなく、商業施設など様々な場所でご活用いただけます。

交通 建築物 広い場所 鉄塔・その他

【航空施設/ヘリポート】 	【病院】 	【校庭/サッカー場/グラウンド】 	【基地局/放送局/防災無線等】 
【港湾施設】 ガントリークレーン等 	【ビル/マンション/オフィス等】 	【遊園地/野球場】 	【屋外防犯カメラ】 
【鉄道】 信号所/変電所/踏切等 	【データセンター】 	【ゴルフ場】 	【貯蔵施設】 化学エネルギー火薬等 
【道路】 SA/PA/料金所等 	【工場・プラント】 	【木造建築】 重要文化財等 	【船舶】 

## ■販売元

京都大学 防災研究所連携  
株式会社 日本減災研究所  
京都市西京区京都大学桂 CクラスターCB1 S04

## ■販売代理店・お問い合わせ

株式会社 エンバイロメント・プロダクト・カンパニー  
福岡市博多区博多駅前2丁目3番23号第3安田ビル8F  
TEL: 092-260-3468  
FAX: 092-260-3469



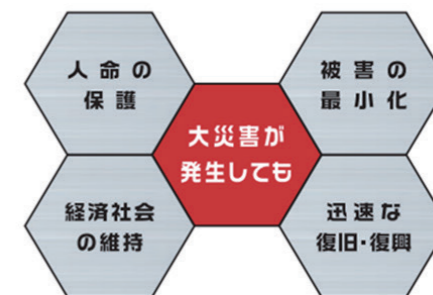
# PDCE

国土強靱化対象製品  
落雷抑制システム



国土強靱化(ナショナル・レジリエンス)、防災・減災の取組みは、国家のリスクマネジメントであり、強くてしなやかな国をつくること。また、ニッポンの産業競争力の強化であり、安心・安全な生活づくりであり、それを実現するひとの力をつくることです。国民の命と財産を守り抜きます。

PDCEは国土強靱化対象製品です。



内閣官房 国土強靱化推進室  
国土強靱化ホームページ [http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo\\_kyoujinka/index.html](http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokudo_kyoujinka/index.html)



国土強靱化  
NATIONAL RESILIENCE  
強くて、しなやかなニッポンへ



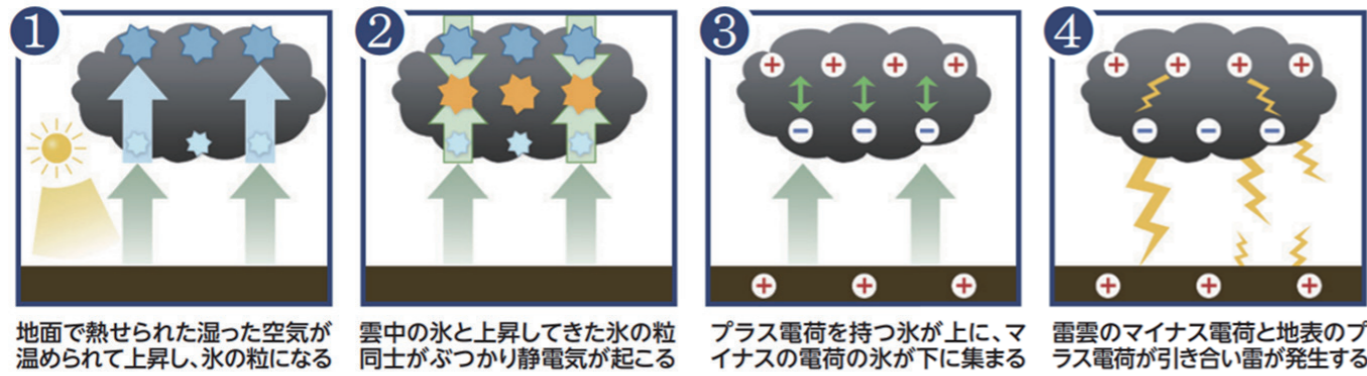
## PDCE諸元

品名	■PDCE-Magnum	■PDCE-Junior
直径	240mm	200mm
高さ	405mm	330mm
重量	約9Kg	約5Kg

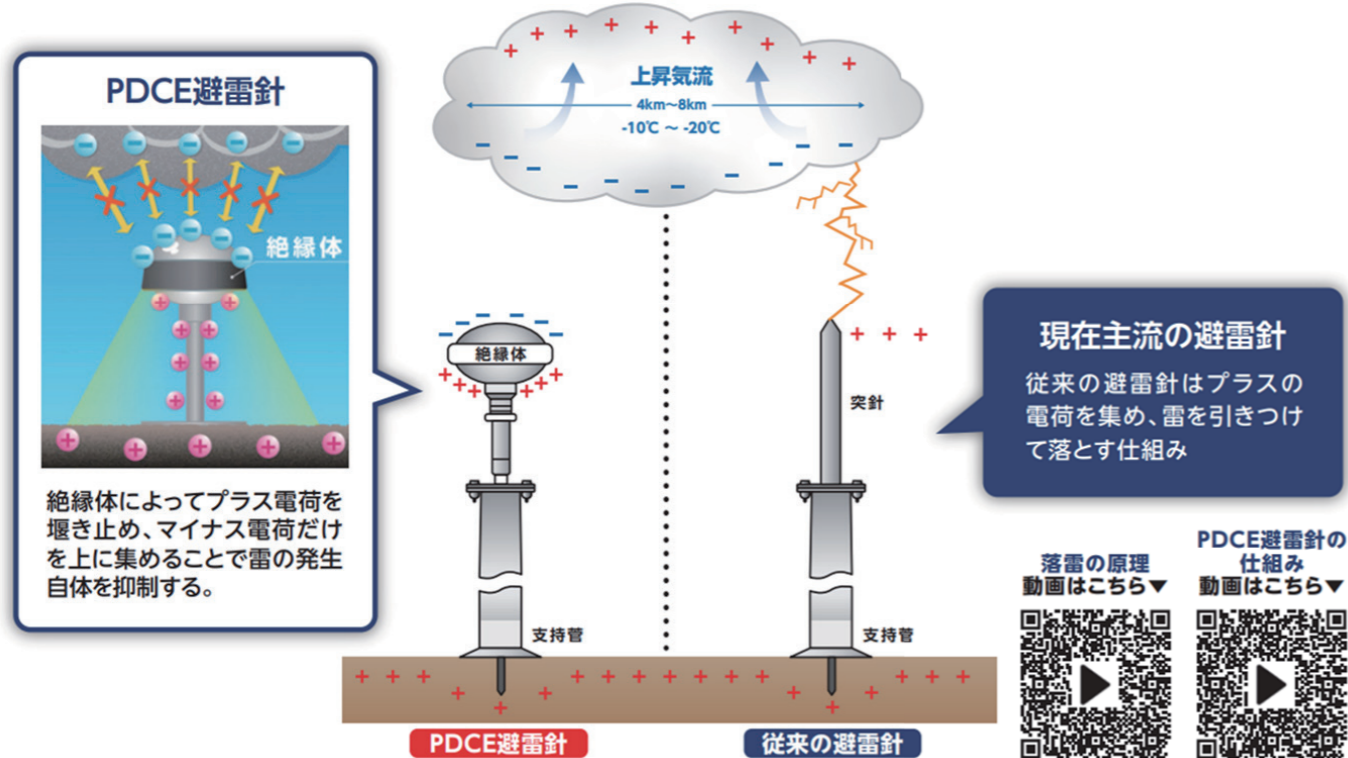


- 有効範囲は従来型の避雷針と同じ扱いです。
- 自然現象が相手であるため常に100%の効果があるとは限りません。稀にPDCE本体に落雷することもあります。
- 上記直撃雷で破損した場合には無償にてPDCE現物を新品と交換します。(設置から10年間)
- 万が一、PDCEが破損し、落下した結果他の物を破損した場合には、3億円を上限としたPL保険が適用されます。(落雷被害は含まれません。)
- 電源は必要としません。
- 化学薬品、塩類、放射性物質は用いていません。

## 雷発生メカニズム

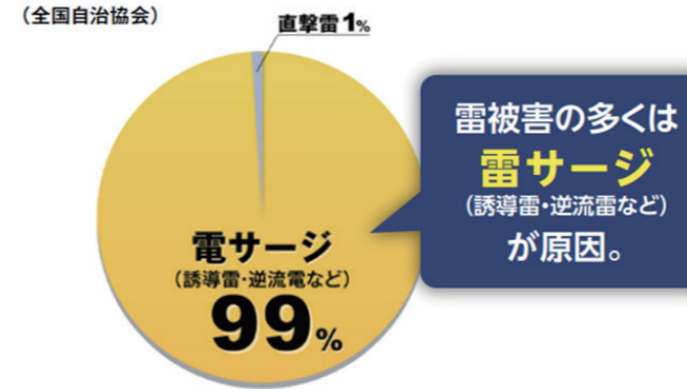


つまり、地表のプラス電荷をマイナス電荷に変えれば  
雷の発生自体を抑制できる



## 雷被害の原因と対策

### 雷被害における落雷の種類



出展:全国自治協会「公共施設のための雷対策ガイドブック」

### 現在求められる雷対策

建物 + 付帯設備

建物+パソコンやエレベーターなどの付帯設備を守らなければならない。

付帯設備を守るためには、雷を集めて落とす従来の避雷針自体が問題となっています。

動画はこちら▼

## 雷を「発生させない」新たな避雷針

従来型避雷針

雷を誘導して「落とす」

誘導して落雷させることで建造物を守る。

巨大電気エネルギーが流れるため建物、電気、電子機器が損傷する。

PDCE

雷を「発生させない」

雷の発生自体を抑制するため、人、建物、電気、電子財産を保護する。

## 地球温暖化による落雷件数増加に伴い従来の避雷針への落雷が多発

- ・電気設備の故障 (エレベーター・オートロック等)
- ・電化製品の故障 (家庭・オフィスのPC・インターフォン・TV等)
- ・建屋の損傷、躯体の破損によるコンクリート片の落下事故
- ・商業施設等で落雷停電による営業停止
- ・鉄道設備への落雷による運休
- ・電子データの消滅

